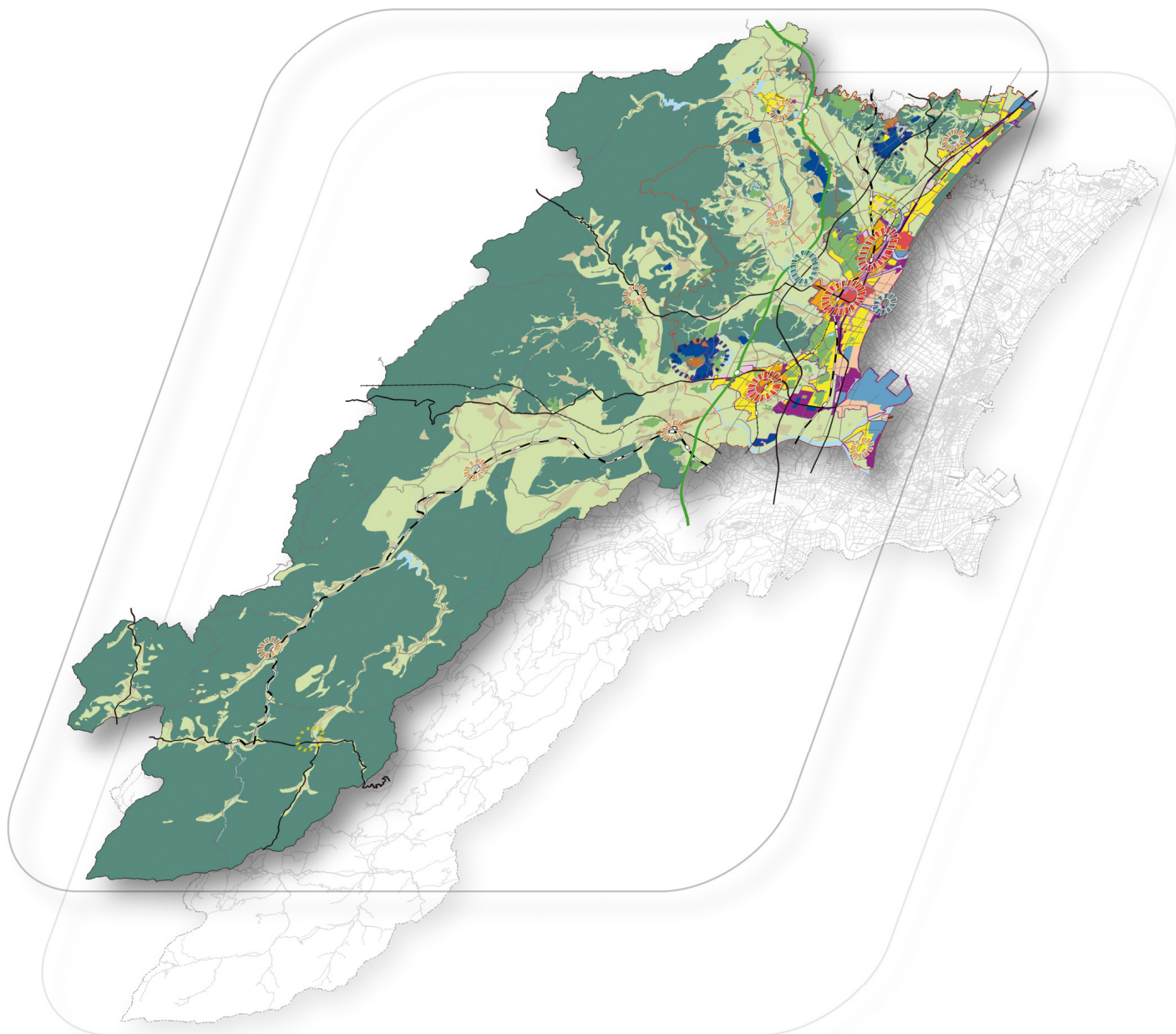


津市 都市マスタープラン

安心して住み
快適に暮らせる
未来につながるまちづくり



平成30年3月
津市

はじめに



津市は、緑豊かな山林や弓なりに連続した海岸線、地域の生活を支えてきた清流など多様な自然を有しており、温暖な気候にも恵まれたとても暮らしやすいまちです。また、県都として国や県の公共施設、大学や短期大学などの高等教育機関、大学病院などの医療機関、企業の本社・支店・営業所など多様な都市機能が集積するバランスのとれた都市です。

このような津市の特性を活かした都市づくりを推進するため、平成20年度よりスタートした津市総合計画の将来像である「環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都」の実現に向けて、津市都市マスタープランのもと、都市の健全な発展と秩序ある整備を図ってまいりました。

しかしながら近年では、少子高齢化を伴う人口減少の進展のほか、大規模自然災害の多発や南海トラフ地震発生の可能性の拡大、インフラ・施設の老朽化など、都市計画を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした時代の変化に対応し、これまでの生活の中で形成されてきた都市基盤を活用して、地域の活性化を図りながら、快適な日常生活を安心して過ごせる都市づくりを行うため、津市総合計画の更新と時を同じくして、津市都市マスタープランを新たに策定いたしました。

今後は、市民の皆様をはじめ、事業者や各種団体の皆様とともに、本計画で定めた「安心して住み 快適に暮らせる 未来につながるまちづくり」を都市づくりのテーマとして、津市の大きな魅力である住みやすさ・暮らしやすさを高めつつ、にぎわいや活力増進を図り、持続的に発展できる都市構造の構築を目指してまいります。

結びに、本計画の策定に当たりまして、貴重なご意見・ご提言をいただきました津市都市計画審議会委員、津市都市マスタープラン等策定推進アドバイザーの方々をはじめ、策定に関わっていただいた全ての皆様に心から感謝を申し上げます。

平成30年3月

津市長 前 葉 泰 幸

目 次

第 1 章	計画策定の目的	1
1.	計画策定の背景と目的	1
第 2 章	都市の現況	5
1.	津市を取り巻く状況	5
2.	土地利用規制の状況	6
3.	都市の動向	7
4.	主要な都市施設等の状況	23
第 3 章	都市づくりの課題	27
1.	都市づくりに向けて捉えるべき動向	27
2.	都市づくりの課題	32
3.	緑地の保全及び緑化推進に関する課題	33
第 4 章	都市づくりの基本理念・目標	35
1.	都市づくりの基本理念	35
2.	都市づくりの目標	36
3.	計画の体系	37
第 5 章	全体構想	39
1.	将来都市構造	39
2.	将来フレーム（計画の枠組み）	45
3.	土地利用の方針	48
4.	都市づくりの分野別方針	56
第 6 章	緑の施策方針、緑地の保全及び緑化推進のための施策	69
1.	緑の施策方針	70
2.	緑地の保全及び緑化推進のための施策	73
3.	緑化重点地区	79
4.	緑地の保全及び緑化の目標	82

第7章 地域別構想	85
1. 地域区分	85
2. 北部地域	86
3. 中央部地域	94
4. 南部地域	104
5. 北西部地域	113
6. 南西部地域	121
第8章 都市づくりの推進方策	131
1. 推進に向けての基本的な考え方	131
2. 計画の実現に向けて	132
資料編	135